



於保

於保
(旧姓渡邊)

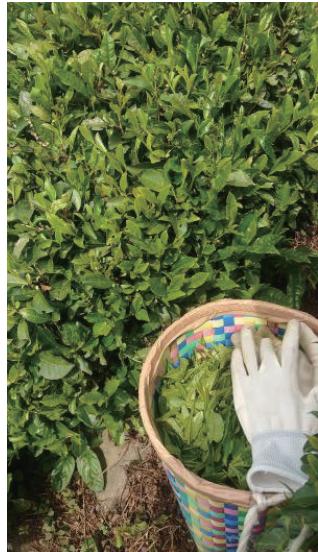
山本

望月

ありが隊新聞

【お茶摘み】

人生初めての手摘みでしたが、とても新鮮で楽しかったです。目の前の茶葉をひたすら摘んでいくのは無意識に無心になれるので、好きな作業だなと感じました。はじめは恐る恐るやつていましたが、だんだんと目も慣れてきてスマートに手が動かせるようになりました。「自分が摘んだ」ということも相まって、出来上がった一番茶は一段とおいしく感じました。



【農林業公社にて】

4月下旬に定植したズッキーニが収穫できました。お茶摘みに夢中だったのですが、成長過程はあまり見ることができませんでした。お茶摘みに夢中だったことで嬉しいです。あまり自分にはなじみのなかつた野菜ですが、立派に育つてくれて揚げたらナスみたいなトロトロ食感になつてとても美味しかつたです。食

5月の活動報告

山本亜矢

（活動報告）

○ご報告

私事ではありますが、今月、同じく協力隊の於保樹さんと入籍しました。たくさんのお祝いの言葉を掛けていただきありがとうございました。まだ一人前には程遠い二人ですが、精いっぱい天龍村で頑張っていきますので、ビシバシ鍛えて頂けると嬉しいです。これから私は、仕事でも苗字を変えて活動していきます。渡邊で覚えてくださった方には申し訳ありませんが、これからもよろしくお願い致します。

○田んぼ

今年は七枚の田んぼをお借りしてお米を育てているのですが、田んぼ周りの草刈が想像以上に大変で驚いています。早く草刈り機の操作に慣れなければ！また、草を刈れずにいた田んぼが鹿の食害に遭い、半分くらいの稻が食べられてしましました。まだギリギリお米は収穫できそうとのことでしたが、急いで対策をしなくてはいけないですね。とりあえず、一気に草刈りをしました。

○畠

エゴマの育苗がおおむね順調で、来週には定植できそうです。畠はトラクターで耕していただいたので準備万端。エゴマの他に大豆とかぼちゃの苗が植え時になつてきました。畠はたくさん貸してもらつてるので、しっかりと野菜を育てていきたいです。地域の方々に助けられ、見守つていただけて何とか時期ごとの畠仕事に食らいついています。日々、感謝です。

○ブルーベリー

例年より一週間ほど収穫が遅れていますが、だんだんと収穫量が増えてきました。まずは、満島屋とゆとりに出荷する予定です。



↑エゴマの苗



↑エゴマを植える畠



↑収穫が始まったブルーベリー

於保 美里

モチコの
天龍やんやんや

文
望月ひとみ

於保樹の活動報告

お疲れ様です。

●循環型農業で地域内自給をめざす

梅雨の候、いかがおすごしでしょうか。じめっとしている日はなんだか身体が重くなります。この梅雨の雨量こそが作物を多く実らせる、日本の大事な気候。だからこそ、梅雨を快適に過ごせるよう、あえて隙間があり、縁側がある家屋であり、すだれや風鈴といった涼しさを感じる小物が使われてきたのです。時代は変われど、ハンディ扇風機でなく扇子を使うような風情を持ち合わせていいです。

さて、天龍村村内、あちこちの畑で、夏野菜の作付けされた風景が見られるようになります。私もていざなすや雑穀を定植しました。

今回は新たな試みとして、南信で生まれた肥料を使うことに（内藤有香さん、福士ゆうかさんご縁をありがとうございました）。飯田市にオープンしたばかりの「プラスイチド」という、酵素風呂（米ぬかとヒノキのくず粉を混ぜた発酵床に身体を埋めて体温を上げることで、身体の新陳代謝をよくしていこうという美容健康法）のサロンの方から、この発酵床を使用後、廃棄してしまうのでなく、天龍村の農業で活用できないかとご相談があり、ぜひ、とお受けしました。肥料まきではスタッフさんがわいわいと来てくださり、楽しく作業。今後、ていざなすの収穫にもお越しいただき、循環型農業を体験していただけたら嬉しいです。

天龍小学校や下伊那農業高校でも
ていざなすなどの天龍村の伝統野菜
の作付けを生徒さんと行いました。
どのように栽培し収穫できるのか、
さらに、種をとるところまでを一緒
にできたらと思っています。

農業の喜びというのは、農産物を
育てて売つて対価を得ることではな
く、自ら育て、収穫したものをおい
しく食し、出来た作物の種をとり来
年へつないでいく、ということが一
連で成し得たときに真に感じられる
のではないか。南信州伝統
野菜協議会では今年もファーマーズ
マーケットを開催していきます。伝
統野菜を通じて、お客様と食の大切
さを考える機会にもなればと思つて
います。



新津史乃さん、
遠山奈菜先生と
ていざなす定植



プラスイチドの
皆さんと肥料まき

5
林業

私事ではあります、今年6月に同じく天龍村地域おこし協力隊である、渡邊美里さんと入籍しました。地区の方々含め、多くの方々からお祝いの言葉をいただき嬉しい気持ちでいっぱいです。ありがとうございます！今後も、夫婦で協力し合い、天龍村を拠点に林業・農業など一次産業を軸に活動していくのでどうか見守つていただけますと幸いです。今後ともよろしくお願ひ致します。

6月初旬より村内の間伐の現場に入らせていただいています。伐倒はもちろんのこと、道づくりや搬出作業、土場作りも行います。伐倒に関しては、「倒せるとこに倒すしかない」ことを基本とし、倒しやすいように列状に切ること、切る順番、搬出・造材のしやすさなど考えるべきことが多く難易度が高いですね。一つのミスも命取りなので緊張します。

—視野を広く持ち流れを考える」とにかく視野が狭く、どの作業においても声を掛けられないと気付かないことがしばしば。常に周りを見て音や相手の動きをイメージしながら感を意識しながら作業すること。
5 元々、視野が狭く夢中になってしまふことがあるので意識しないとなにも変わらない。やるしかない！



土場作り



間伐樣子